

達成状況評価書(平成26年度)

部局名:ナノサイエンスデザイン教育研究センター

項目	コメント
<p>1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)</p> <p>教育に関する年度計画の達成状況</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、社会人教育科目等履修生高度プログラムに関してカリキュラムの拡充を行ったほか、企業、学外教員も講師となる大学院生・社会人共通科目の土曜集中講義である、新規技術の社会への適応方法を探る「ナノテクノロジー社会受容特論」を演習・発表を加えて3回から4回に拡大するとともに、同「ナノテクノロジー社会受容特論」及び、ロードマップとデバイス・システムのコンセプト作りに資する「ナノテクノロジーデザイン特論」を合計8日間に拡大して開講し、大学院生・社会人共通の97名が受講するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)</p> <p>研究に関する年度計画の達成状況</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、学外機関との連携を図るために、関西6機関のナノテクノロジー教育研究部門が連携して、1月に関西ナノテクネットワークを立ち上げ、学際的・融合的学問分野の創出のための活動を開始したほか、大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアムとの活動強化により、共同研究が増加(前年度から2件増の5件)となるなど、成果が上がっている。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>3. その他 (大学の年度計画: 11~17)</p> <p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、大阪大学ナノ理工学産学連携コンソーシアムと連携した情報交流会、セミナーを合計5回開催しており、毎回の課題をコンソーシアムの企業委員の要望により決定し、遠隔配信地域を10箇所を増やすことにより、前年度に比べて参加者が約100名増加するなど、成果が上がっている。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 18~30)</p> <p>業務運営全体に関する年度計画の達成状況</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアムからの奨学寄付金を得たほか、HPCI(ハイパーパフォーマンス・コンピューティング・インフラ)プロジェクト計算物理科学イニシアティブ経費を継続して獲得し、さらに共同研究費など外部資金等を多く獲得している。また文部科学省特別経費「社会に開かれた大学院の科学技術人材育成モデル事業-社会連携とグローバル化に適うナノデザイン教育研究によるものづくり理工学人材の育成-」を獲得し、ものづくりナノ基盤科学技術人材育成における社会性、国際性のより一層の発展に積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成26年度)

項目	コメント
5. 全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、「ナノテクノロジー社会受容特論」等の土曜集中講義の拡大開講、大阪大学ナノ理工学産学連携コンソーシアムと連携した情報交流会、セミナーの開催、外部資金等の獲得など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>